



人とつながり 自然と笑顔あふれるまち とようら

～どこかなつかしい賑わいのあるまちを目指して～

これは、第6次豊浦町総合計画で掲げた「**将来のまちの姿**」です。

私は、日ごろから、豊浦町には笑顔があふれていると感じており、そこには心の豊かさとともに、人と人とのつながりの強さを感じます。

昔からあるようなどこか懐かしい賑わい、それが今も私たちのまちにはあり、この豊浦町ならではのまちの雰囲気は、未来に残していくべきものと強く感じています。

しかしながら、昨今、人口減少・少子高齢化が叫ばれ、自治体の消滅すら危惧される社会情勢となっています。

人口は維持することが難しく、人口減少は、じわりじわりと地域に影響を与えてきます。

豊浦町も同様で、現実是非常に厳しく、町政を預かる立場として、強く強く感じています。

それでも、下ばかり見ているだけでは、何

も変わりません。

困難な状況においても、私たちは前に進んでいかなければなりません。

そのためには、困難な状況にある中でも、1歩ずつ、歩みを進めるための方策が必要であり、それが第6次豊浦町総合計画です。

この総合計画のもと、町民・議会・役場がともに切磋琢磨しながら、まちづくりに取り組んでいかなければならないものと思っています。

私たちの大切な豊浦町をしっかりと次世代にバトンタッチしていくために、皆さん一緒にまちづくりを進めていきましょう。

最後に、計画の策定に当たり、ご協力いただいた町民の皆さま、第6次豊浦町総合計画についてご審議いただいた豊浦町総合計画策定審議会委員の皆さま、町議会議員の皆さまに、心よりお礼申し上げます。



▲若者から子どもたちへ、昔のお祭りを継承